

(別添7)

事業所名 グループホーム大学通り一燈園

2 目標達成計画

作成日: 令和4年2月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・利用者の重度化進行に伴う介護量の増加と医療面の経過観察、状態変化に伴う専門的対応を要す状況が増加している。 ・慢性的な人員不足に加え、コロナ過の影響も相まって、職員の身体的、精神的負担が大きくなっている。 ・コロナ過により、家族や地域、社会との関わりが取りづらくなっている。	・職員一人ひとりが仕事に対しての働き甲斐ややりがいを感じられるアイデアや意見を出し合えるような職場環境、雰囲気作りを行うことで、職員全体のチームワークの向上と効率の良い事業運営の実現を図り、事業所のさらなる地域定着化を図る。	法人の「目標チャレンジ制度」と「業務改善の取組」を通して、 ①現状の事業所の状況を踏まえた職員個々の目標設定と達成に向けてのプロセスの確認、達成度の確認(年2回) ②事業所においては業務の効率化や改善に向け、テーマの選定から取組の具体的な内容と実施スケジュール、達成度までを設定した取組サイクルを定着化する。 以上、①②の実施によって、左記目標の達成に取り組む	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。